

No.	報告受理日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別NAT	備考
87	2007/12/14	人赤血球濃厚液-LR 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	07/07 07/07	HBsAg(-) (07/04) HBsAg(-) (07/06)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAg(-) HBcAb(+) (07/11) HBV-DNA(+) (07/11)	-	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (07/11)	陽性(輸血 後)	保管検体6本全 部HBV-DNA(-)	
88	2007/12/18	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	血液腫瘍	細菌感染	07/11	-	36. 8℃ PR82/分 BP88/37 SaO2 92% シニアフィラキ 患者血液培 養、結果は陰 性	非溶血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性。血漿タンパク質交換検査: 欠損なし。 投与中止の当該製剤(1本)で細 菌培養試験を実施。試験結果: 陰性				ウイルスの解析:患者検体と献血者 (HBV陽性保管検体)とでPreS/S領 域を含むP領域の前半部の1550bpの 塩基配列を比較したところ、両者の 塩基配列は全て一致した。献血者と 患者のHBVウイルスはGenotype Aで 塩基配列からSubtypeはadwと推定し た。
89	2007/12/19 2007/12/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	60	生殖器腫瘍	B型肝炎	07/09-10	HBsAg(-) HBsAb(-) (07/11) HBcAb(-) (07/09)	HBsAg(-) HBsAb(-) (07/10) HBsAg(+) (07/11) HBsAg(+) HBcAb(-) (07/11) HBV-DNA(+) (07/12)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (07/09)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) IgM-HBcAb(-) (07/12)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体5本に ついてHBV- DNA(-) 1本HBV- DNA(+)	
90	2007/12/26	人赤血球濃厚液	女	50	生殖器腫瘍	C型肝炎	98/05	HCV-Ab(-) (98/04)	HCV-Ab(+) (07/12)	-	-	-	保管検体3本全 部HCV-RNA(-)	
91	2007/12/18	新鮮凍結人血漿-LR	男	70	肝・胆・膵腫瘍	細菌感染	07/11	-	悪寒・戦慄 BT 37℃ BP 140/50 HR157/min 新鮮凍結血漿 投与中止 BT 40.1℃ BP 94/60 HR139/min 解熱剤筋注 BT 37.9℃ BP 75/45 HR 109/min 患者血液培養 は未実施	非溶血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性。血漿タンパク質交換検査: 欠損なし。 投与中止の当該製剤(1本)のセ グメントチューブで細菌培養試験 を実施。試験結果:陰性			2007/11/19に悪寒、発熱として情報 入手し、30日報告の扱いとされてい たが、12月13日に細菌感染も疑われ るなどの追加情報を得たため、感染症 症例として報告されたもの。	